

かみごみょうじょうりすいでん し 上五明条里水田址



発掘たより

第2号



★今年度の発掘調査は終了しました。

今年度の発掘調査は、10月初旬から開始し、12月末で終了しました。

今回の調査では、平安時代後期の集落跡と、それよりも下層で水田跡を確認しました。

たてあなだてものあと

竪穴建物跡から発見された遺物

地表下約 1.5mから、平安時代の竪穴建物跡が、18軒発見されました。遺物は、土師器が最も多く、須恵器や灰釉陶器、緑釉陶器もみついています。

特に 10号竪穴建物跡からは、緑釉陶器や帯金具など、身分の高い人物の持ち物が出土しました。



空撮写真



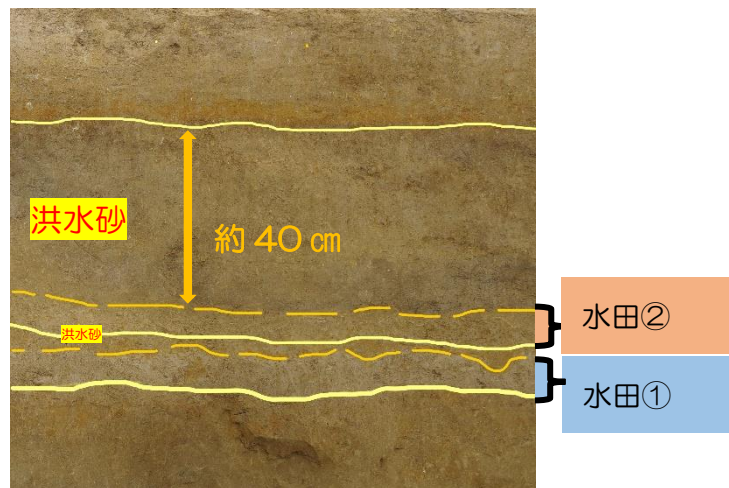
帯金具

こうすいさ

洪水砂で埋まった水田跡を発見

今回の調査では、洪水砂で埋まった水田が2面みつかりました（水田①,②）。特に、上層の水田（水田②）は、厚さ約40センチメートルの洪水砂で覆われており、大規模な洪水によって水田が埋没したことが分かりました。

水田がつくられた時期は、今後の調査を通して明らかにしていきたいです。



水田の土層断面

こうすい さ
洪水砂で埋まった水田（つづき）

地表下約2mの深さから、南北方向に延びる大畔と、小畔がみつかりました。
畔の配置と水田面の傾斜から、自然地形を利用して水田耕作が行なわれていたと考えられます。



大畔（赤線）と小畔（青線）



大畔に沿う工具の痕跡

げんちせつめいかい
11/19.20 現地説明会

11月19日（金）と20日（土）に現地説明会を行いました。突然の開催であったにもかかわらず、2日間で54名の皆さまにご参加いただき、竪穴建物跡などの遺構や遺物を見学していただきました。見学者からは「昔も、今の自分たちと同じように、ここに人が住んでいたのだな、と実感した貴重な機会でした」などのお声をいただきました。

なお、現地説明会の様子は、『UCV 上田ケーブルビジョン』のHPにて、11月23日の放送回として公開されています。【https://ucv.co.jp/program/cat_prg/report/】



竪穴建物跡を見学する参加者



出土遺物見学の様子

★発掘期間中はご協力いただき、ありがとうございました。冬期間は3月までセンターにて遺構や遺物の整理作業を進めていきます。
★来年度も継続して調査を行う予定です。
引き続きの調査へのご協力を宜しく願います。

上五明条里水田址発掘たより 第2号
発行日：2022年1月27日
担当者：寺内貴美子・大竹憲昭・水科汐華
長野県埋蔵文化財センター
TEL：026-293-5926